

様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 <教育実習> 4年次 5月～6月 又は 9月～10月
②	教育実習等の実習期間・総時間数 <教育実習> 中学校3週間（120時間）高等学校2週間（60時間）
③	教育実習校の確保の方法 <教育実習> 中学校…愛知県外を希望する場合は、学生の希望に基づき公立中学校は各自治体の教育委員会、私立中学校は中学校に依頼し内諾を得る。 愛知県内を希望する場合は、学生の希望に基づき公立中学校は愛知県教育実習私大協議会又は名古屋市教育委員会に申請し、原則実習希望地にある母校以外の公立中学校が割り当てられる。 <教育実習> 高等学校…愛知県外を希望する場合は、学生の希望に基づき公立高等学校は各自治体の教育委員会、私立高等学校は高等学校に依頼し内諾を得る。 愛知県内を希望する場合は姉妹校である菊華高等学校 又は 愛知県下の県立高校から希望する実習校を選択し内諾を得る。
④	実習内容 <教育実習> 中学校…全授業時間120時間中、授業参観18時間、授業担当20時間、うち研究 授業2時間。放課後の研究指導、学級経営の参加等。 <教育実習> 高等学校…全授業時間60時間中、授業参観12時間、授業担当15時間、うち研究 授業1時間。放課後の研究指導、学級経営の参加等。
⑤	実習生に対する指導の方法 <教育実習> 週2回教職専任教員が巡回、研究授業には教職専任教員と教科専任教員が指導する。
⑥	実習の成績評価（評価の基準及び方法） ※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。 <教育実習> 名古屋産業大学教職審査会が実習校からの資料に基づき評価する。
2	事前及び事後の指導の内容等
①	時期及び時間数 事前指導 4年次4月～5月（9時間） 事後指導 4年次7月 又は 11月（6時間）
②	内容（具体的な指導項目） 事前指導 1 教育実習で予想されることのシミュレーション（教科指導・教科外指導等） 2 指導計画・指導案作成の復習および模擬授業の実施 3 姉妹校、実習校の事前訪問による実習の展望の明確化 事後指導 1 姉妹校および実習校の現職教員による助言と教員採用試験への支援 2 教職専任教員による教育実習振り返り指導
③	教育実習等におけるハラスメントの防止等に関する学生への指導（相談窓口の周知を含む）及び学内の相談体制等について 学内におけるハラスメントについては「名古屋産業大学ハラスメントに関する規程」に従い対応を行う。教育実習時におけるハラスメントについては、教職審査会に相談のうえ、教職審査会と実習校が連携し対応する。

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・ 委員会等の名称
名古屋産業大学教職審査会
- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）
教育の基礎的理解に関する科目の専任教員 2名
教科及び教科の指導法に関する科目を担当する専任教員より4名を選任
その他審査会が必要に応じて選任
教務課員 1名
- ・ 委員会等の運営方法
本学における教職課程運営 及び 教職課程履修者の状況に応じ必要な審議を行う。

【委員会の組織図】

学長 ⇄ 教務委員会 ⇄ 教職課程連携委員会 ⇄ 教職審査会

② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

- ・ 委員会等の名称
名古屋産業大学教職審査会
- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）
教育の基礎的理解に関する科目の専任教員 2名
教科及び教科の指導法に関する科目を担当する専任教員より4名を選任
その他審査会が必要に応じて選任
教務課員 1名
- ・ 委員会等の運営方法
本学における教職課程運営 及び 教職課程履修者の状況に応じ必要な審議を行う。

【委員会の組織図】

学長 ⇄ 教務委員会 ⇄ 教職課程連携委員会 ⇄ 教職審査会

4 教育実習の受講資格

3年次終了までに卒業要件単位90単位以上修得済であり、以下に掲げる必修科目を履修済であること。

- ・ 教職論、教育原理、教育心理学、特別活動及び総合的な学習の時間の指導法、
実習教科の指導法（社会科教育法Ⅰ・Ⅱ、社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ）

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	幼稚園○学級、小学校○学級、中学校○学級、高等学校○学級、特別支援学校○学級		
○	×	学校名	菊華高等学校（愛知県名古屋市守山区小幡5-8-13） 学級数：30 児童数：943人		
		教員数	51人（内訳）教諭26人、講師24人、養護教諭1人		
○	×	教育委員会名	愛知県教育委員会	中学校：299校	高等学校：150校
○	×	教育委員会	名古屋市教育委員会	中学校：112校	高等学校：14校

令和7年3月10日

名古屋産業大学
学長 高木 弘恵 様

菊華高等学校
校長 山岸 鳴門

教育実習受入承諾書

貴学現代ビジネス学部現代ビジネス学科通信教育課程における教育実習校として、実習生を受け入れることを承諾いたします。

学校名：菊華高等学校

学級数：1年 10 2年 10 3年 10 合計 30

生徒数：1年 314人 2年 319人 3年 310人 合計 943人

教員数：教諭 26人

助教諭 0人

講師 24人

養護教諭 1人

養護助教諭 0人

栄養教諭 0人

実習期間：2～3週間

実習教科：高等学校（公民）

令和 7年 3月 17日

名古屋産業大学
学長 高木弘恵 様

愛知県教育委員会
教育長 飯田 靖

教育実習受入承諾書

教員免許状取得のため、愛知県内(名古屋市を除く)の公立中学校及び県立高等学校において教育実習を行うことを承諾します。

記

- 1 教育実習の受入に係る学部・学科・入学定員及び免許状の種類
学部：現代ビジネス学部
学科：現代ビジネス学科（通信教育課程）
入学定員：200名
免許状の種類：中学校教諭一種免許状（社会）
- 2 教育実習の受入時期
令和11年4月から

以 上

令和7年3月14日

名古屋産業大学
学長 高木弘恵 様

名古屋市教育委員会
教育長 坪田 知広

教育実習受入承諾書

教員免許状取得のため、名古屋市の公立中学校及び名古屋市立高等学校において教育実習を行うことを承諾します。

記

1 教育実習の受入に係る学部・学科・入学定員及び免許状の種類

学部：現代ビジネス学部

学科：現代ビジネス学科（通信教育課程）

入学定員：200名

免許状の種類：中学校教諭一種免許状（社会）

高等学校教諭一種免許状（公民）

2 教育実習の受入時期

令和11年4月から

以上